

環境保全設計コースの学修到達目標

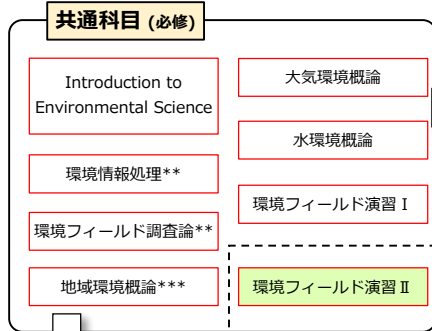
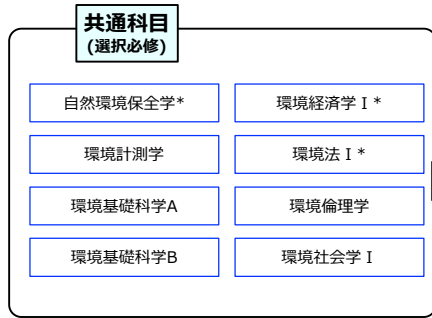
1. 環境問題を、自然科学の専門的見地から理解している。
2. 持続可能な自然環境メカニズムを修復・保全・設計するための学術的・政策的知識を有している。
3. 自然科学のみならず、社会科学に関する専門的知識を修得することにより、環境問題を多角的視点からとらえることができる。
4. 環境問題に関わる地球科学、環境技術、生物多様性保全、生体影響について専門的手法を身につけ、収集した資料を適切に分析し、それを的確に表現することができる。
5. 環境保全設計に関する専門的知識を身につけ、主体性をもって他者と協働できるコミュニケーション能力を身につけている。

環境保全設計コースのカリキュラム・ポリシー

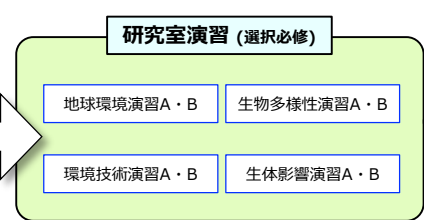
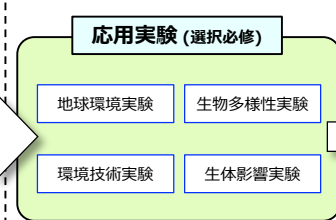
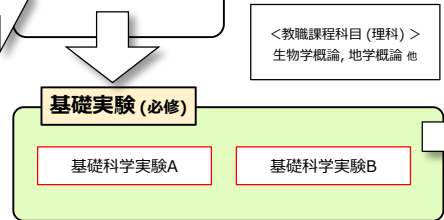
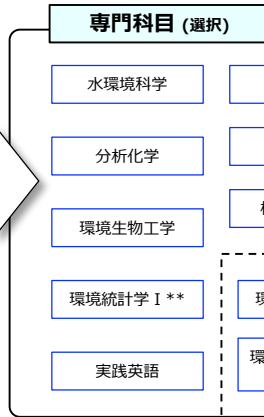
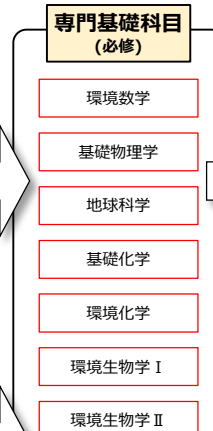
1. 入門科目の共通科目で、地球環境及び地域環境、フィールド調査・観測に関する基礎的知識を学びます。
学修の到達度は、主にレポート及び筆記試験により評価します
2. 環境保全設計コース基礎科目で、自然科学の基礎的知識、そしてそれらを環境問題へ応用するための基本的知識と技術について、講義、実験、演習により学びます。
学修の到達度は、主にレポート、筆記試験、実験成果、及びプレゼンテーションを通じて評価します。
3. 環境保全設計コース専門科目で、地球科学、環境技術、生物多様性保全、生体影響に関する広範な専門的知識を学びます。また、キャリア形成に必要な実践的知識、国際・地域において活用できるコミュニケーション能力を実践的に学びます。さらに、コース横断的に環境政策コースの専門的知識も学びます。
学修の到達度は、主にレポート、筆記試験、プレゼンテーション、及びディスカッションにより評価します。
4. 卒業研究において、それまでの学びを活かし、専門性・学術性の高い知識と技能を学びます。
学修の到達度は、主に卒業論文及びプレゼンテーションを通じて評価します。

環境科学部 環境保全設計コース

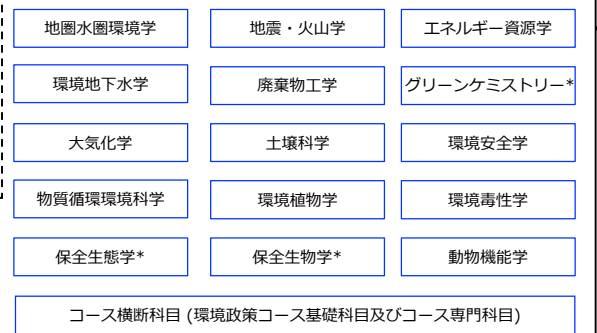
一年次 ～入門科目～



二年次 ～コース基礎・専門～

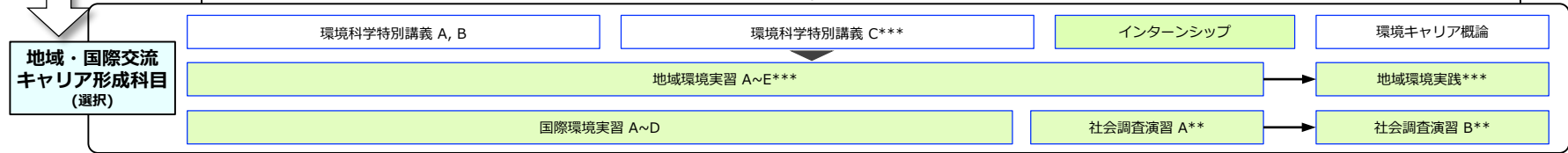


三年次 ～コース専門 / 研究室配属～



四年次

環境科学特別研究



凡例・備考	必修科目群	選択科目群	*：環境再生医指定科目 (環境政策コース基礎・専門科目にも指定科目あり) **：社会調査士指定科目 (環境政策コース基礎・専門科目にも指定科目あり) ***：レジリエントな地域社会創生リーダー育成プログラム
実習系科目	必修科目	選択科目	